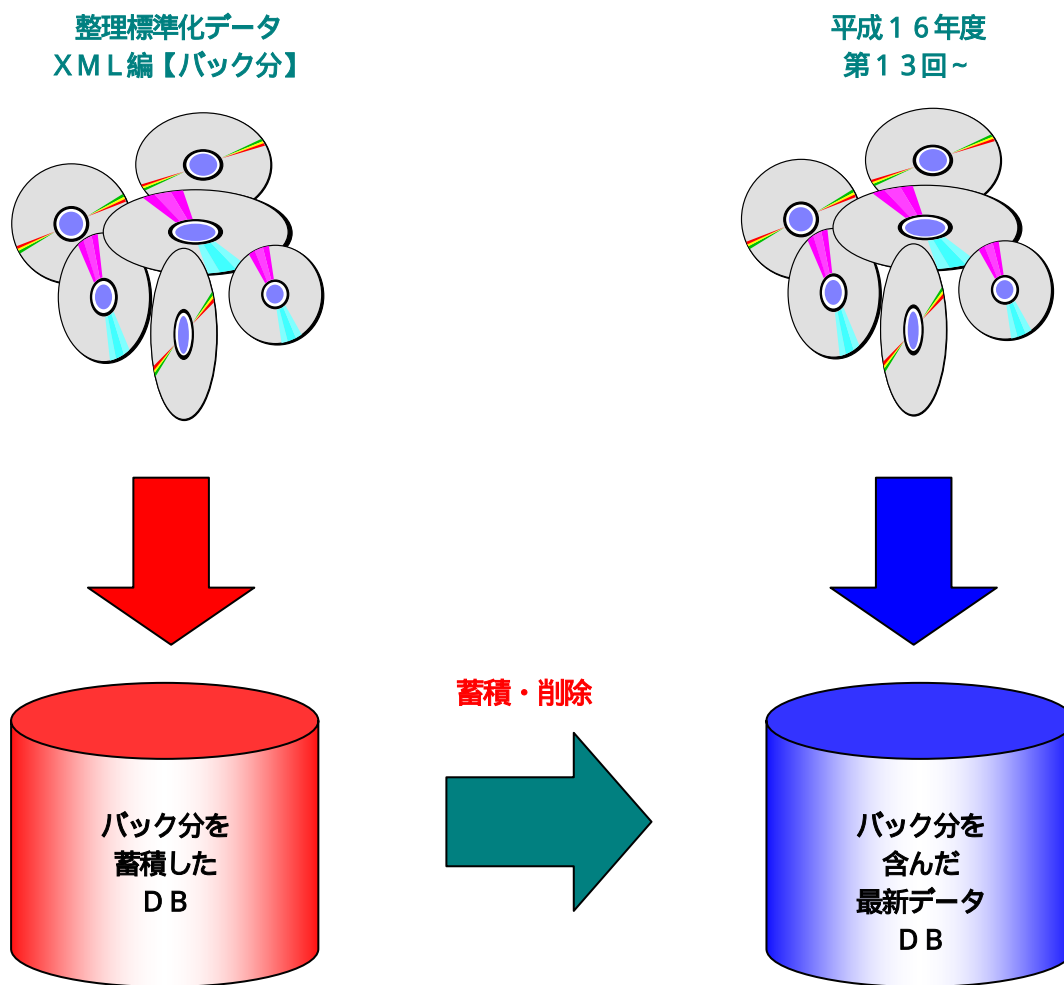


整理標準化（バック分）更新方法の例

下記、更新例はあくまで参考であり、実際に更新を行う場合は、ユーザ各システムに合わせてご検討願います。

新規ユーザ様

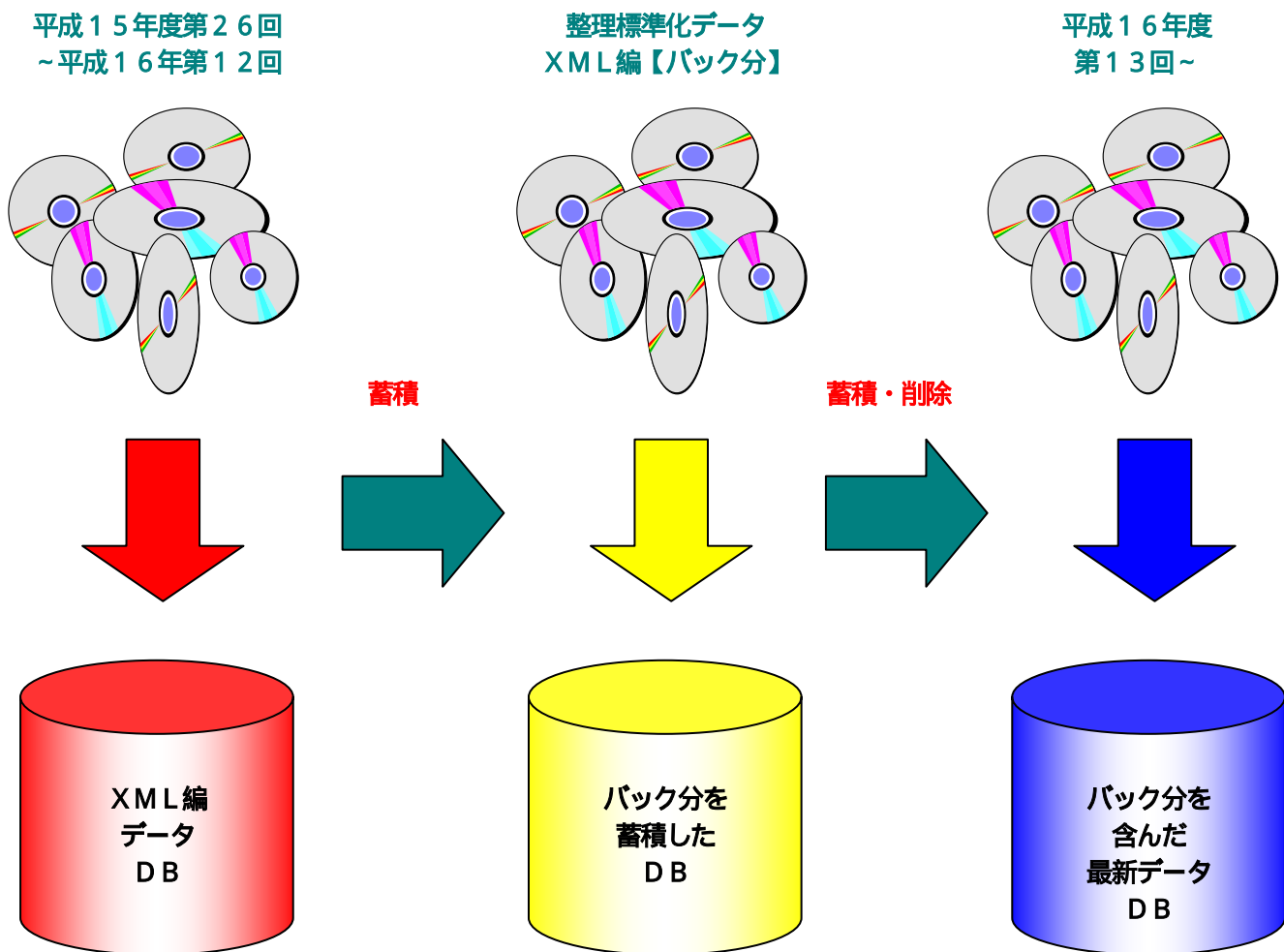
- 1 XML編（バック分）以降のデータのための蓄積の場合（1～2の順に蓄積）



1. 整理標準化データXML編（バック分）の蓄積処理をする

2. 平成16年度第13回以降順次蓄積・削除処理をする

- 2 XML編での販売分すべてを蓄積する場合（1～3の順に蓄積）

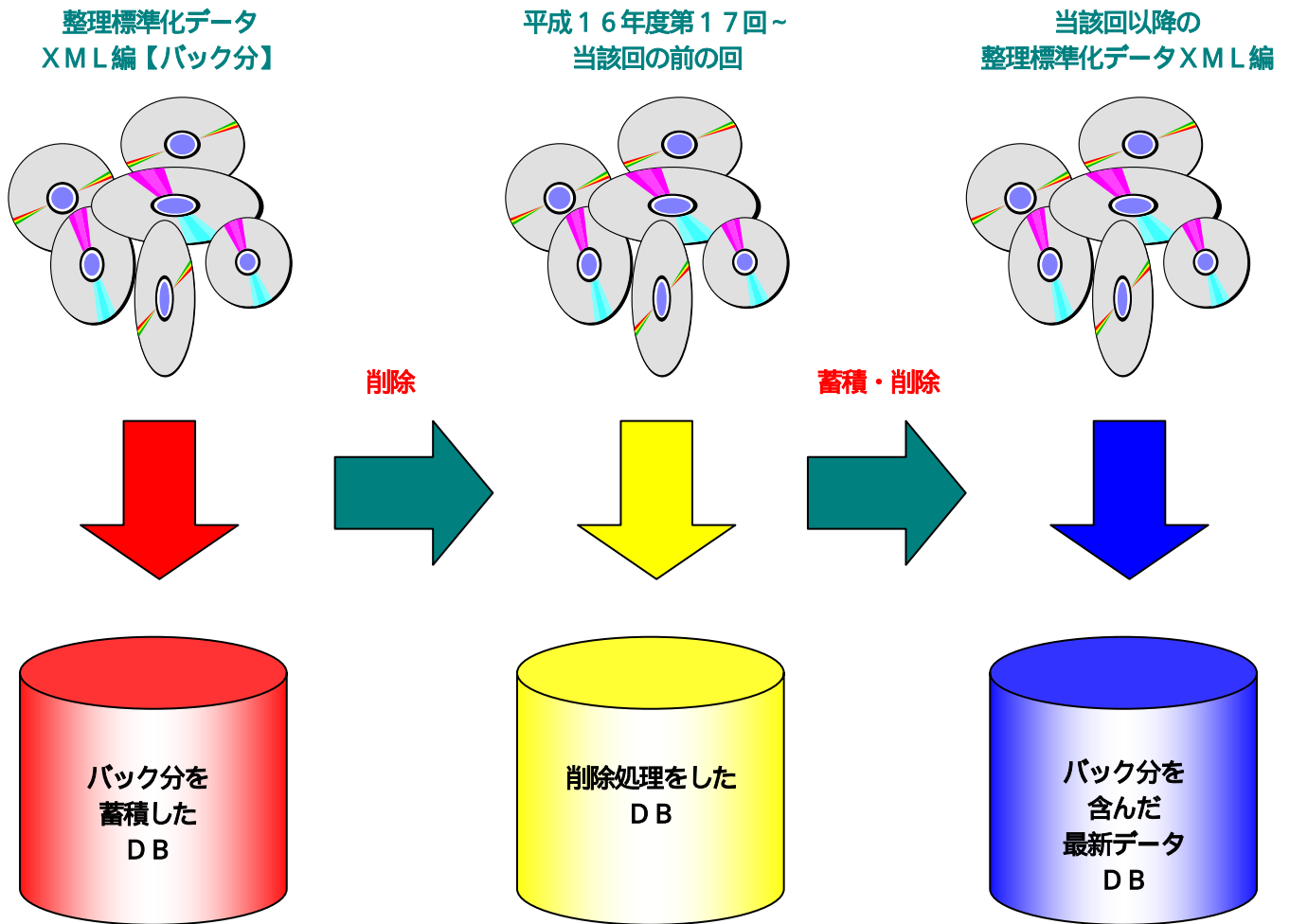


1. 平成15年度第26回～平成16年度第12回を順次蓄積・削除処理をする

2. 整理標準化データXML編（バック分）の蓄積処理をする

3. 平成16年度第13回以降順次蓄積・削除処理をする

既存ユーザ様（既に（当該回まで）XMLデータを購入されている方）（1～3の順に蓄積）



1. 整理標準化データXML編（バック分）の蓄積処理をする
（ただし、既に同じ案件が蓄積されている場合はバック分の案件は蓄積しません）

2. 平成16年度第17回以降、当該回の前の回まで、順次削除処理のみをする
（ただし、削除された案件が再度蓄積された場合は、当該案件が削除されてしまう可能性があります）

3. 当該回以降、順次蓄積・削除処理をする